

成長可能性に関する説明資料

株式会社エナリス（証券コード：6079）

2013年10月



本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での当社判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

1. 当社グループの特徴	P. 3
2. 市場環境	P. 4
3. 事業内容	P. 5
4. 会社概要	P. 15
5. 財務情報	P. 18
6. オファリング概要	P. 20

■当社の強み

- ① 新電力（PPS、電力の新規参入者、※1）の需給管理を通じて、電力業界の規制・制度等に精通している点です
- ② 一件単位の精緻な需要予測や太陽光の発電予測など電力需給をバランスさせるために必要な数多くのノウハウを蓄積している点です
- ③ これらの知見やノウハウをベースに、電力需要家が負担する電力コストを可能な限り引き下げるという視点を徹底的に貫くことによって、多様なサービスやソリューションを開発している点です

■当社の特徴

1) エナリスの設立主要メンバーは、電力・エネルギーの専門家

- 新電力（PPS）や発電事業を立上げ・会社設立をしてきた電力の専門家が集まって設立した会社です

2) 多種多様な人材で構成された、専門家集団

- 金融機関出身者、商社出身者、大学研究者、ベンチャー経営者、公認会計士、大手メーカーの開発責任者、REIT出身者、戦略コンサルタント、気象予報士、自衛隊幹部、百貨店の販売員、コンビニ店長、俳優、サッカー選手等の社員それぞれが特徴を融合させて新しいサービスに取り組んでおり、多種多様な考え方・人種・文化を包含できる形で事業を推進しています

3) 需給管理による電力事業から派生して、電力関連事業を展開

- 需給管理 = スケジュールコーディネート、と再定義
- 需給管理の請負実績 実稼働新電力約30社中延べ17社（2013年8月29日時点）
- 需要家PPS（新電力） 自ら電力調達を行うスキームの推進
- 調達・運用改善 需要家の側に立った、効率的な電力の利用方法の指南
- リスクマネジメント 細切れの電源を仕入れ・整形して、電力会社・市場へ売電する電力卸売り

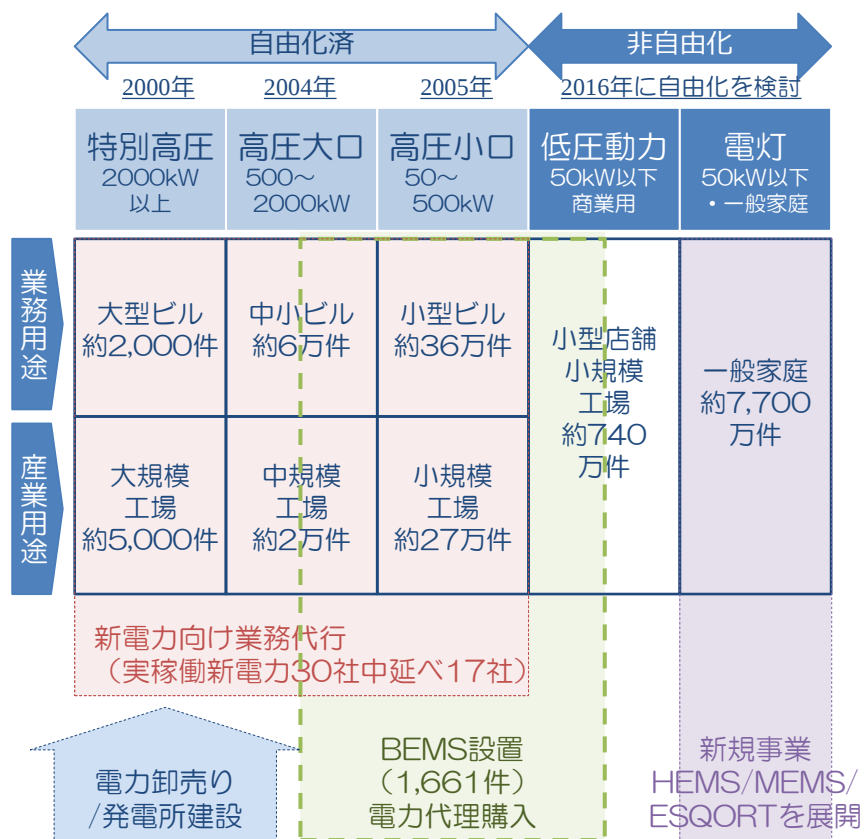
（※1）新電力（PPS：Power Producer & Supplier、特定規模電気事業者）：

一般電気事業者（電力会社）以外で、50kW以上の高圧電力を必要とする大口需要家に 対して電気の小売り供給を行う事業者

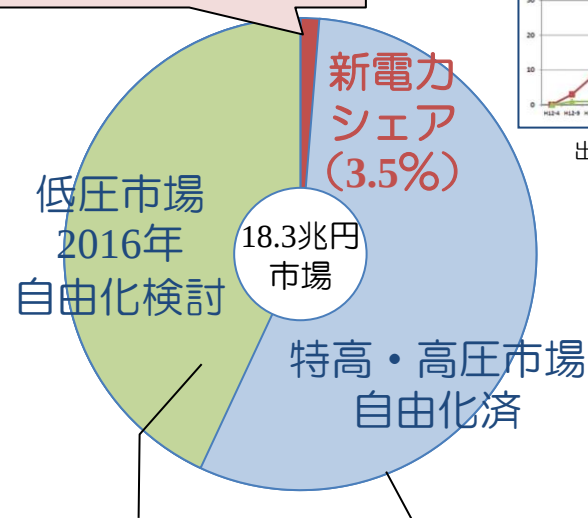
2.市場環境 エナリスがビジネス展開する市場規模

約8,500万件の需要家が存在する電力市場（約18.3兆円）。
新電力社数の増加と低圧自由化により市場規模が拡大。

電力市場 約8,500万件の契約、18.3兆円の市場

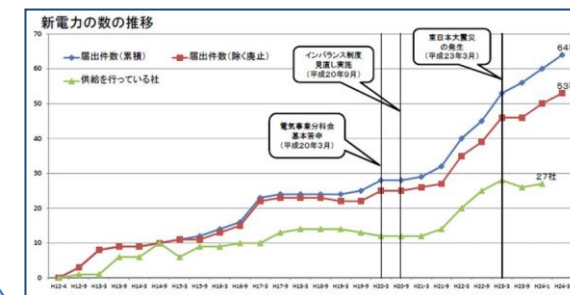


新電力シェア（約3.5%）
5,000億円市場
届出95社（2013年8月30日時点）
⇒実稼働約30社中
延べ17社の当社業務委託



自由化する一般家庭
向けに、新規事業を展開
(HEMS等)

新電力社数の推移



出所：経済産業省「電力小売市場の自由化について」

節電ニーズ/電気代値上げから
BEMS導入の拡大
1,661件補助申請
(2013年8月23日時点 ※新規受付終了)

注：経済産業省電力調査統計等をもとに当社が作成

3.事業内容

当社の事業/サービス全体像

電源開発

電力
卸売り

新電力向け
業務代行

エネルギー
マネジメント



需給管理技術を起点に、需要家サイドのエネルギーマネジメント、発電サイドのパワーマーケティングを展開しております。

当社グループの事業 【エネルギー流通情報事業】

パワーマーケティング事業

エネルギーマネジメント事業

創業事業

電源開発

発電所の建設・販売

- ・バイオディーゼル発電所
- ・太陽光発電所
- ・バイオマス/ガス発電所
- ・ファンド等による投資

電力卸取引

電力会社・市場 仲介・トレーディング

- ・太陽光の高値買取⇒売電
- ・一括購入⇒小分け売電
- ・細切れ購入⇒纏めて売電

節電電力の売買

- ・ネガワット取引

- ・発電所の電源開発/設備販売
- ・神奈川県県有施設の屋根貸し太陽光の建設

- ・金融的管理手法を駆使したリスクマネジメント事業
- ・卸仲介取引、卸電力売買

新電力向け 業務代行

新電力の 需給管理

- ・実稼働新電力
約30社中、延べ17社
(2013年8月29日時点)

エネルギー マネジメント

B2B向け エネルギーマネジメント

- ・FALCON SYSTEM販売
- ・電力代理購入(単価削減)
- ・運用改善コンサル
- ・デマンドレスポンス

B2C向け エネルギーマネジメント

- ・HEMS/MEMS販売
- ・ESQORT
- ・蓄電池販売

- ・BEMS導入申請第一位(1,758件 2013年9月27日時点 新規受付終了)
- ・電力代理購入(関東、関西地域)
- ・運用改善コンサル 延べ810件(2013年8月29日時点)
- ・デマンドレスポンス(東京/関西/九州/北海道/四国電力)

BEMS: Building Energy Management Systemの略。ビル等のエネルギーを管理するシステム。FALCON SYSTEMは、当社BEMSの商品名です。

HEMS: Home Energy Management Systemの略。一般家庭のエネルギーを管理するシステム

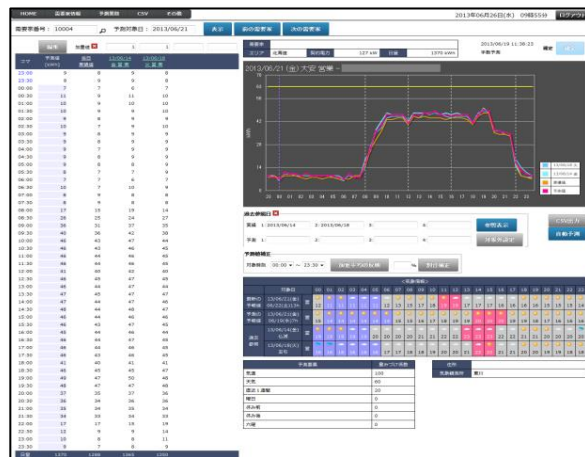
MEMS: Mansion Energy Management Systemの略。マンションのエネルギーを管理するシステム

実稼働している新電力（PPS）約30社中延べ17社の管理実績があります（2013年8月29日時点）。

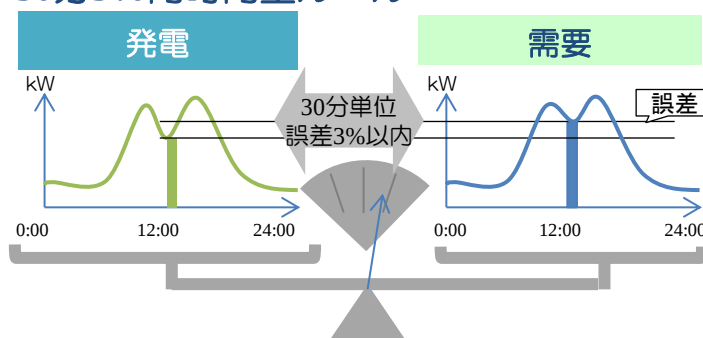
STEP1：需要予測

STEP2：ポジション作成

STEP3：需給監視

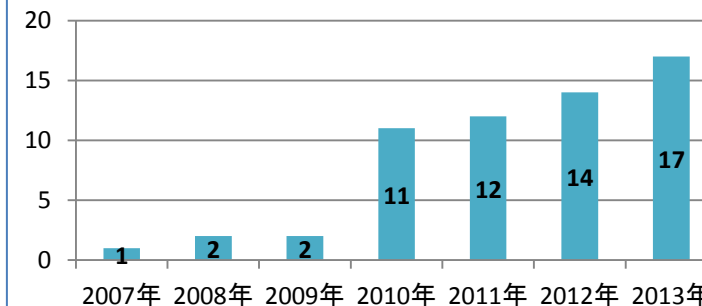


30分3%同時同量ルール

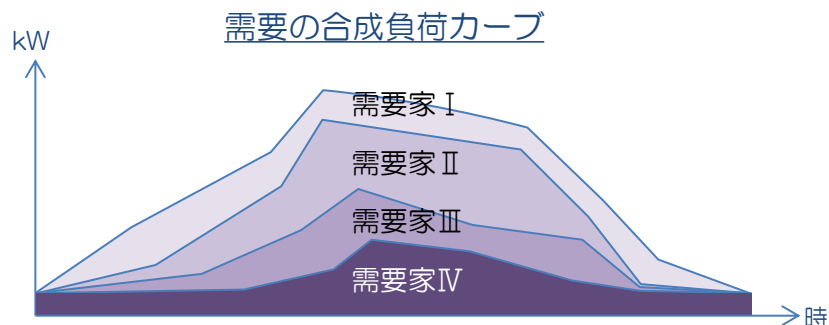
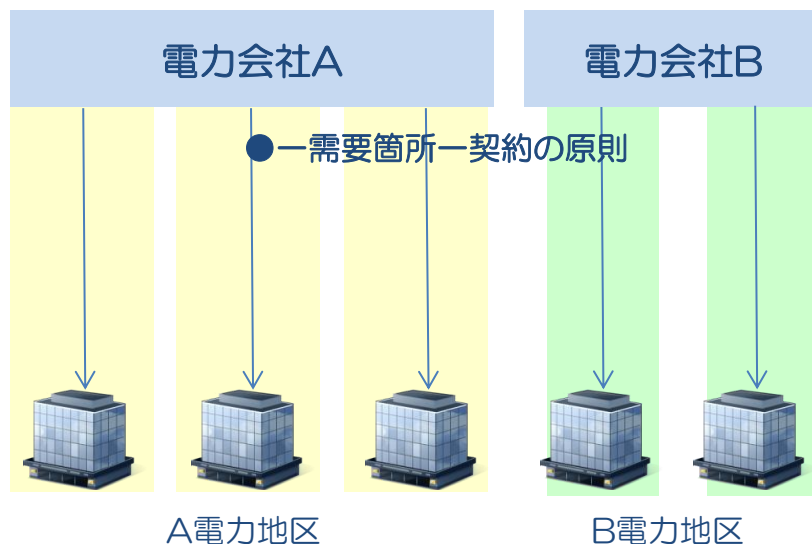


電力は蓄積できません。そのため、電力会社の送電線を借りるにあたり、30分48コマ単位で、発電量と需要量を、誤差が契約電力の3%以内に抑える必要があります→当社の需要予測技術が重要

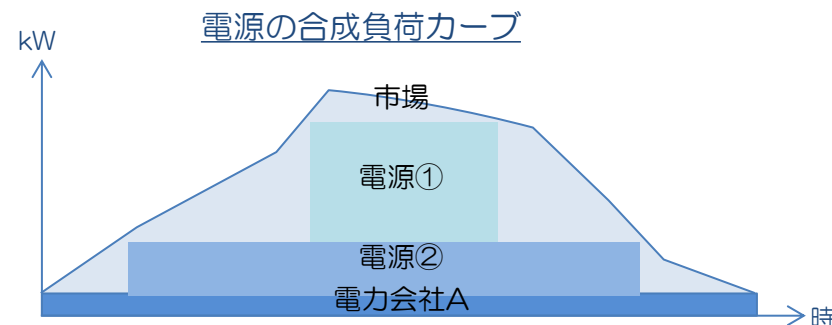
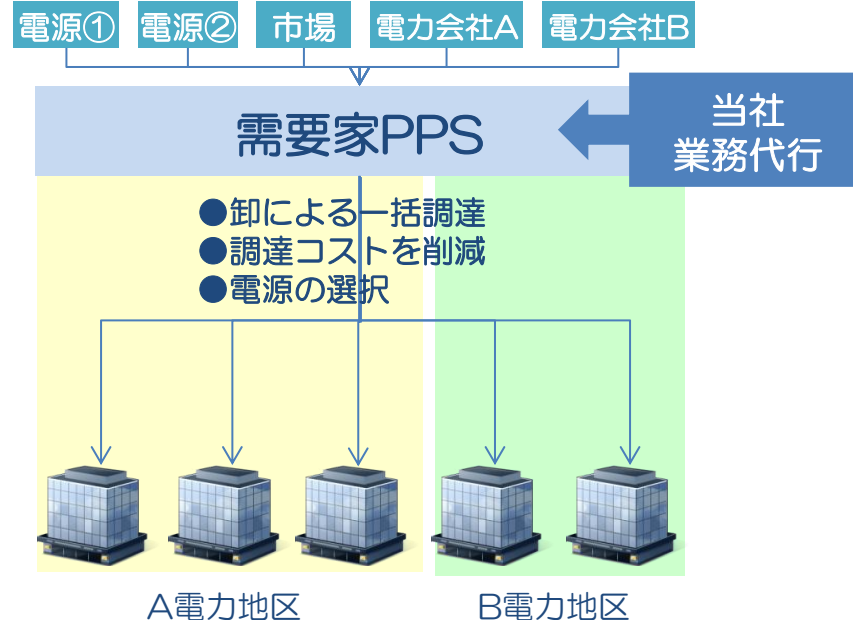
請負実績 延べ社数推移



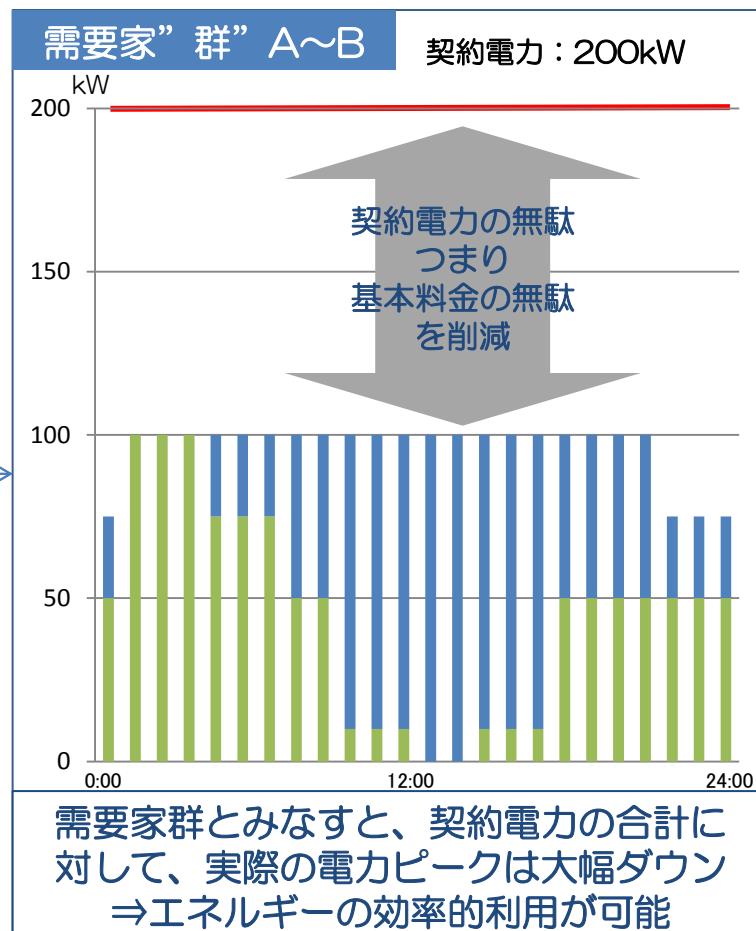
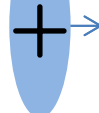
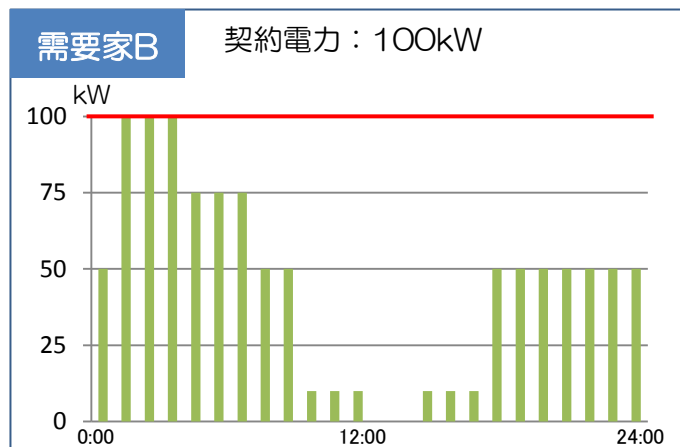
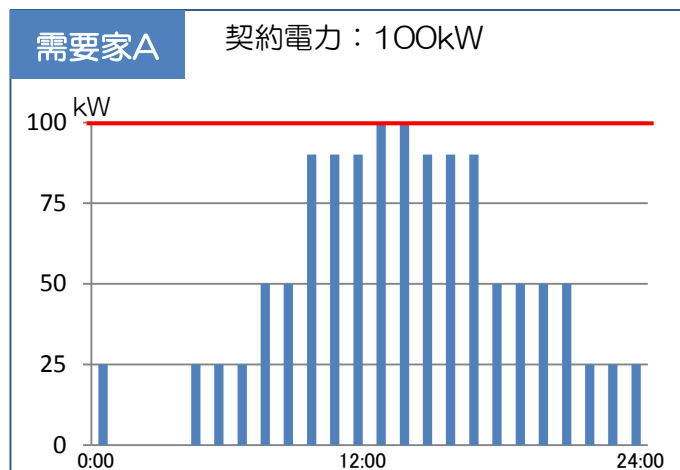
小売りで購入



新電力スキームにより 卸取引で購入



不等率を利用した一括購入。電力需要のピークが同時に起こらないことを利用して、契約電力の無駄払い（基本料金）を削減します。



基本料金
約1,500円/kW の内訳



新電力となることで
発電料金に相当する
基本料金を削減可能

運用
改善

調達改善

設備
改善

①メニュー
選択

②電力会社
選択

③電源選択

④複数電力会社の選択

最終手段と
して、投資
して設備・
機器を変更

- ・SMBC系シンクタンクである株式会社日本総合研究所が設立した運用改善のコンサル会社、(株)イーキュービックを2012年12月に合併
- ・空調や照明といった設備の効率的な運用方法を指南

電力会社の契約
メニューを見直す

業務用電力

業務用季節別
時間帯別電力

業務用
休日高負荷

電力会社自体を
変更する

電力会社

新電力A

新電力B

需要家PPS＝新電力
スキームの利用

電源A

電力
会社B

市場

需要家PPS
(当社業務委託)

需要家
施設A

需要家
施設B

需要家毎にポートフォリオ管理

電源A

電力
会社B

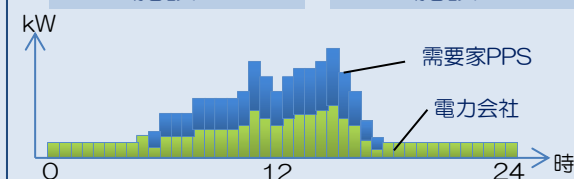
市場

需要家PPS
(当社業務委託)

電力会社

需要家
施設A

需要家
施設B



一つの需要施設において、
複数の電力会社から供給を受ける

大

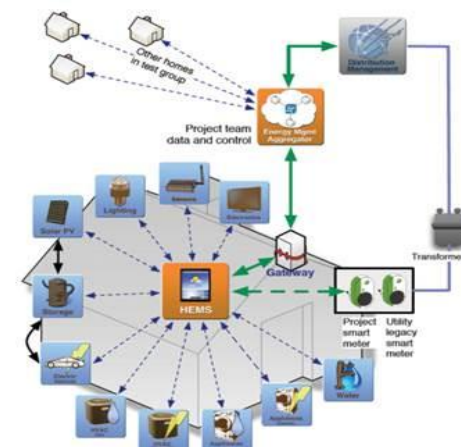
投資対効果

小

エネルギー
マネジメント

ENERES
ENERGY RESOURCE SERVICE

- ・テキサス州Austin市MuellerのPecanStreetで実施。
 - ・住民1000戸、商業施設67件が参加する、スマートグリッドの実証実験。実証の目的は、ピーク時の需要への対応(スマート家電製品、電気自動車)、ダイナミック・プライシングの取組、水道ガス等の情報も取り込む。
 - ・参加企業 下記。テキサス大学、Austin Energy(電力会社)も参加
-



3.事業内容

エネルギー流通情報事業 エナリスが目指す事業

電源開発

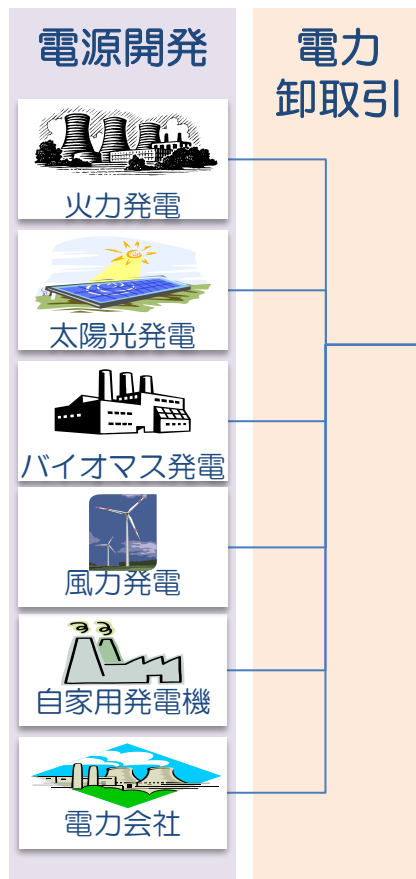
電力
卸売り

新電力向け
業務代行

エネルギー
マネジメント



発電サイド



■エネルギー流通情報の管理 提供、エネルギー仲介等



- ・需要予測（需要家1件単位のスケジュール管理）
- ・電力購入（各発電所、自家発電余剰、電力会社常時バックアップ電力、等）
- ・市場オペレーション（ポートフォリオ管理）（仲介、トレーディング、燃料調達、価格ハッジ、リスク管理等）
- ・需給管理（同時同量管理、託送契約代行、等）
- ・新電力支援（電力調達代行、管理システム提供、損益管理・経営指南、等）
- ・エネルギー使用コンサルティング

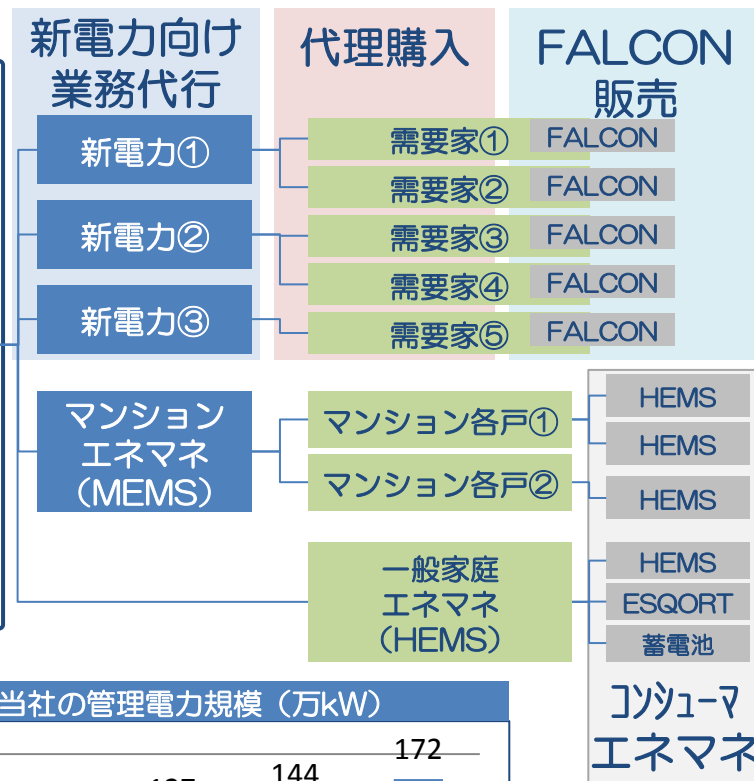
市場取引
オペレーション

日本卸電力取引所

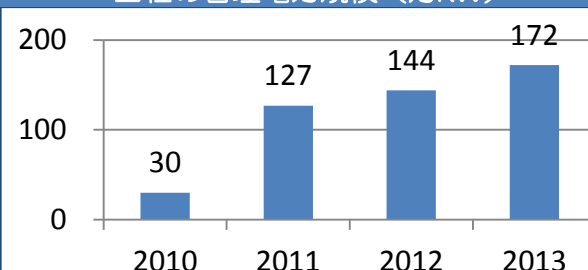


需要サイド

エネルギーマネジメント



当社の管理電力規模（万kW）



BEMS: Building Energy Management Systemの略。ビル等のエネルギーを管理するシステム。FALCON SYSTEMは、当社BEMSの商品名です。

HEMS: Home Energy Management Systemの略。一般家庭のエネルギーを管理するシステム

MEMS: Mansion Energy Management Systemの略。マンションのエネルギーを管理するシステム

電力の可視化/機器の制御が可能なFALCON SYSTEMを展開しています。
経産省が推進するBEMS導入補助事業では申請第一位(1,758件 新規受付終了)です。

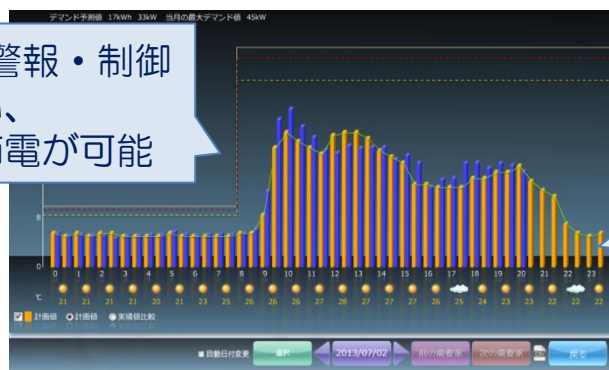
■システム構成



契約電力を超えることがないように、事前に警報や機器制御を実施して、電力料金の削減を実現する

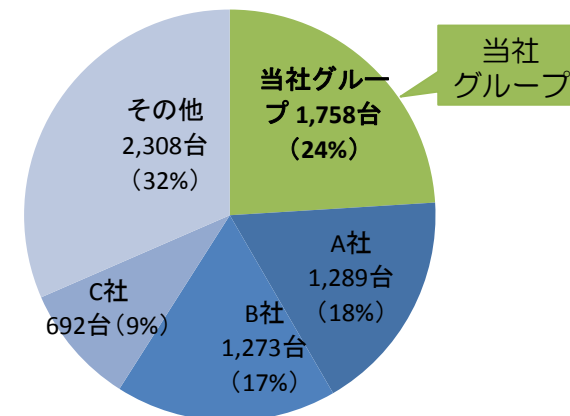
■画面イメージ

30分毎に警報・制御設定を行い、細やかな節電が可能



気象予報士による高精度需要予測で、需要家の事前対策が可能となります
※当社は気象予報業務の許可会社です

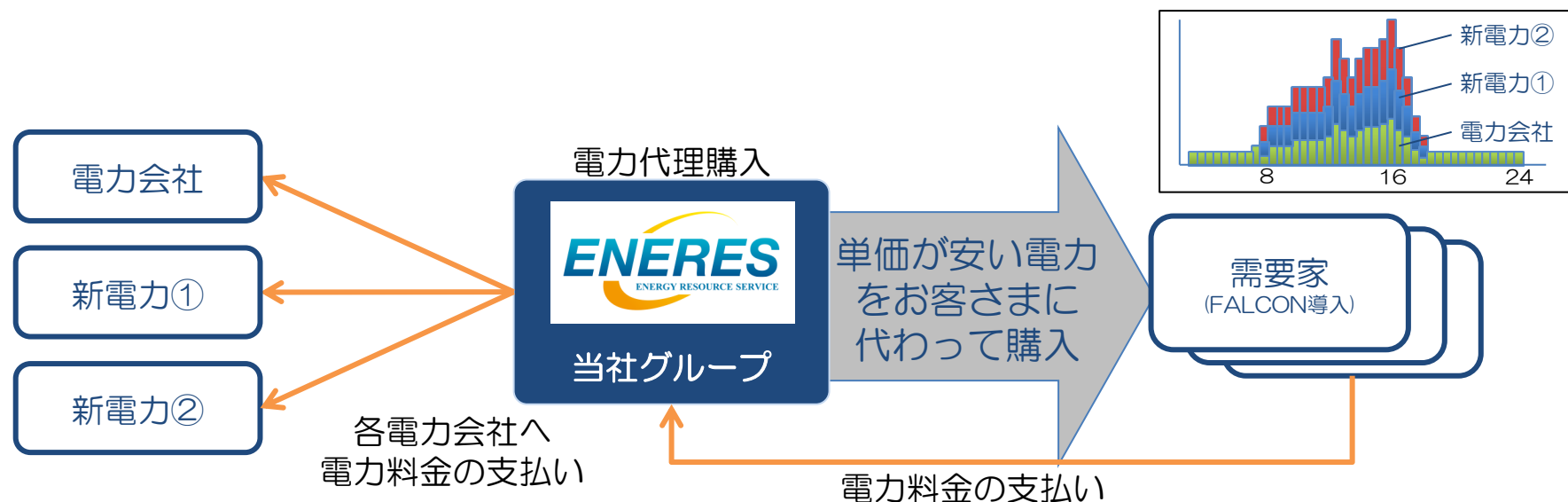
経済産業省の補助金あり
BEMSアグリゲータ事業 補助申請状況
(2013年9月27日時点)



補助率：設備1/2、工事1/3
出所：一般社団法人環境共創イニシアチブ 公表資料

本補助金は、平成25年9月13日をもって新規のお申し込みは終了とさせていただきました。
既にお申込みいただいているお客様においては事業確定まで責任をもってお請けいたします。

比較優位な電力を、当社グループがユーザーに代わって選択し、提供する仕組みです。



7月より営業、10月販売開始、
今後販売拡大を予定しております。
(東京電力、関西電力にて展開)

低圧自由化を視野に、快適性を追求するコンシューマー向けエネルギーマネジメントサービスを順次展開していきます。



エネルギー流通情報の
リアルタイム管理

ユーザー行動の
ビックデータ

他業種との協業へ

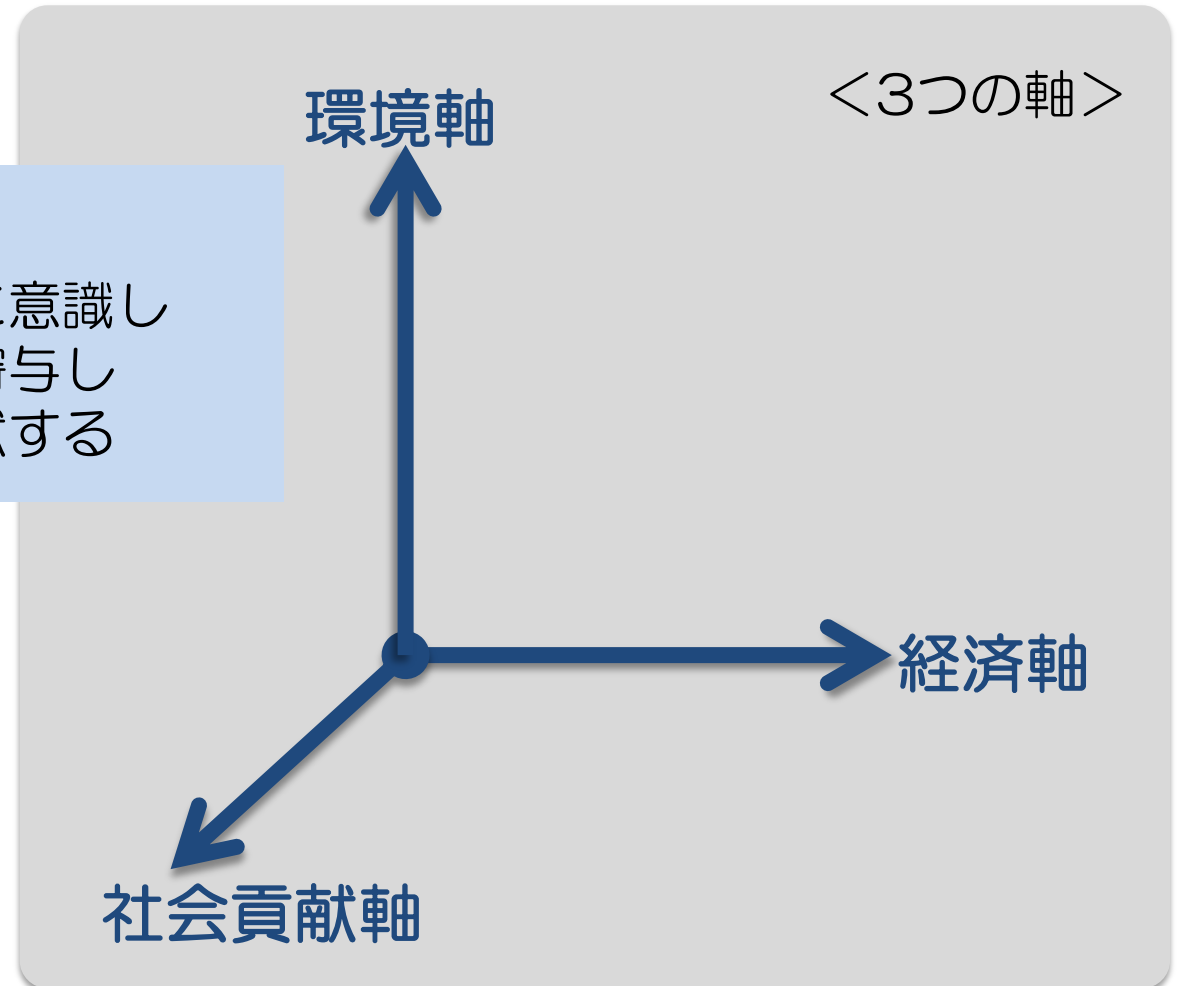
【会社名】	株式会社エナリス / ENERES Co.,Ltd.			
【創業/設立/決算期】	2004年12月24日 / 2008年4月23日（旧株式会社エナリスHD）/12月決算			
【資本金】	9,500万円			
【従業員数】	90名（2013年7月31日現在/派遣社員等を除く）			
【事業内容】	エネルギー流通情報、エネルギートレーディングサービスの提供 エネルギー金融商品の開発 電力の調達代行・販売、需給管理業務代行 エネルギー管理システム構築・貸与・サービス提供等			
【役員構成】	代表取締役社長	池田 元英	社外取締役	村上 憲郎
	取締役会長	久保 好孝	常勤監査役	川崎 勝久
	専務取締役	長沼 隆治	社外監査役	天城 武治（公認会計士）
	常務取締役	右田 宏	社外監査役	大村 健（弁護士）
	常務取締役	渡部 健		
	取締役	高橋 直弘		
	取締役	藤田 昌香		
【本社所在地】	東京都足立区千住1-4-1 東京芸術センター			
【関西支店】	大阪府大阪市中央区道修町3-3-11 旭光ビル8F			
【登録・許可】	特定建設業許可 東京都知事 許可（特-24）第137877号			
	電気工事業者登録 東京都知事届出 第248913号			
	予報業務許可 第178号			
	BEMSアグリゲータB001号 MEMSアグリゲータM009号			
	ISO認証 No.10294 ISO9001 / ISO27001			





<経営理念>

地球市民としてのあり方を常に意識し
社会生活の改善と文化向上に寄与し
人類の平和と繁栄に大きく貢献する

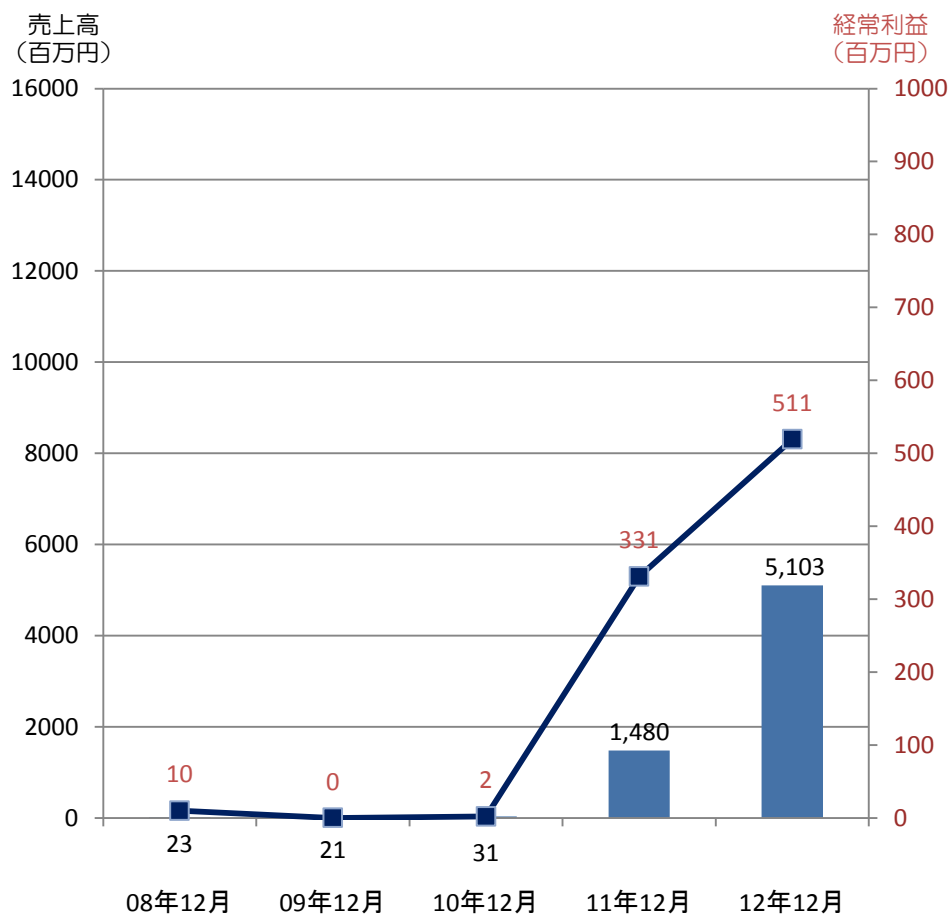


電力需要家のエネルギー調達ポリシーを共に構築

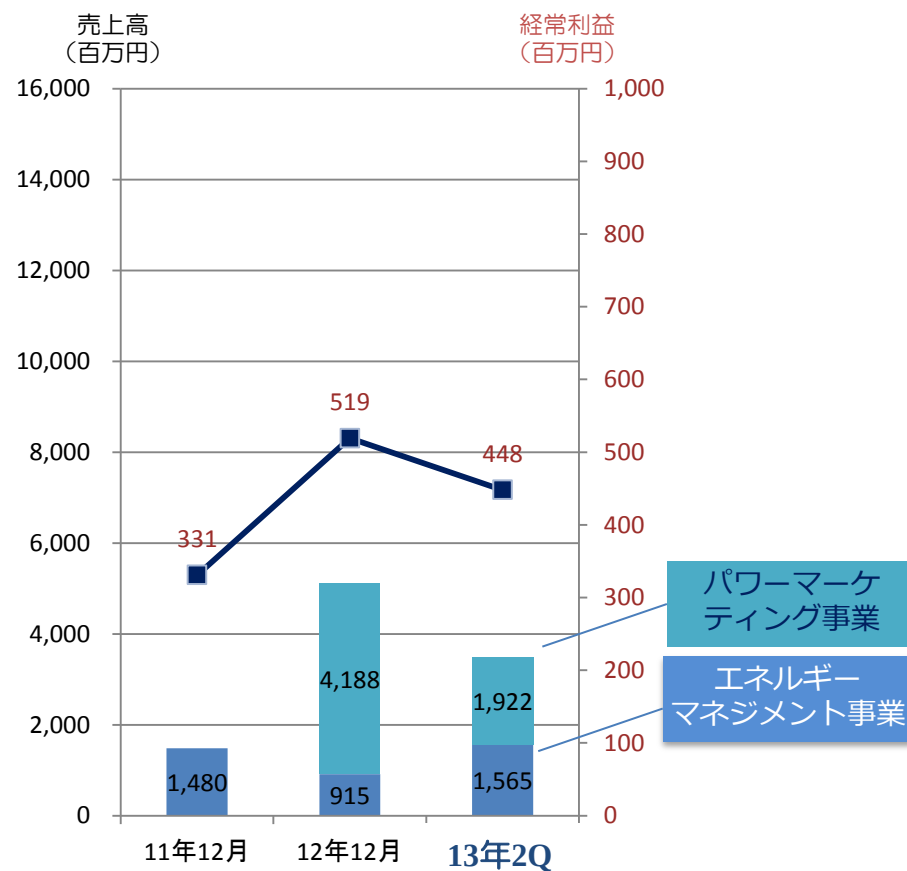
4.会社概要 これまでの業績推移

棒グラフ：売上高
折線グラフ：経常利益

(株)エナリス（単体）



(株)エナリス（連結）



単位:百万円

連結貸借対照表

	前期末	当2Q末	増減	主な増減科目
流動資産	1,739	2,179	+440	売掛金 +309、前払費用 +198M 現預金 ▲86
固定資産	272	1,248	+976	建設仮勘定 +901 ソフトウェア
資産合計	2,011	3,428	+1,416	
流動負債	1,152	1,550	+397	社債・借入金 +259 未払法人税等 +95
固定負債	97	820	+722	社債・借入金 +727
負債合計	1,250	2,371	+1,120	
純資産合計	761	1,057	+296	四半期純利益 +295
負債純資産合計	2,011	3,428	+1,416	

単位:百万円

連結損益計算書 及び 連結キャッシュ・フロー

	当2Q		当2Q	主な項目
売上高	3,487	営業活動によるキャッシュ・フロー	▲69	税引前四半期純利益 +448 売上債権の増減額 ▲307 その他 ▲175 法人税等の支払額 ▲69
売上原価	2,096	投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,005	有形固定資産の取得 ▲905 無形固定資産の取得 ▲91
売上総利益	1,391	財務活動によるキャッシュ・フロー	+987	長・短借入金の増減 +437 社債発行 +550
販売費及び一般管理費	916	現金及び現金同等物の増減額	▲86	
営業利益	475	現金及び現金同等物残高	259	
経常利益	448			
四半期純利益	295			

◆ 上場日	2013年10月8日
◆ 上場市場	東証マザーズ
◆ 仮条件決定日	2013年9月17日
◆ ブックビルディング期間	2013年9月19日～9月26日
◆ 発行価格決定日	2013年9月27日
◆ 募集期間	2013年9月30日～10月3日
◆ 払込期日	2013年10月7日
◆ 新規発行株式	4,170,000株
◆ 売出株数	3,600,000株
◆ オーバーアロットメント株数	1,160,000株
◆ 主幹事証券会社	野村證券株式会社
◆ 資金使途	システム投資(家庭向けHEMS、エネルギー管理システム等) 電源開発にかかる発電設備建設資金及び建設運転資金